

浅沼組が携わるオランダパビリオン、移築に向け新たな段階へ

— 譲渡契約締結で淡路島への移築プロジェクトが前進 —

株式会社浅沼組(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長:浅沼誠)は、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)において、建設から解体、さらには移築に向けた取り組みまで携わっているオランダパビリオンについて、2026年6月29日に譲渡契約が締結されたことをお知らせいたします。

本契約は、当初の所有者であるパビリオンの設計・建設を担ったコンソーシアム AND (A New Dawn) B.V.*¹ から株式会社パソナグループ(本社:東京都千代田区、代表取締役会長 CEO 若本博隆、以下「パソナグループ」)に所有権が譲渡されるものです。2025年4月25日に両者間で締結された移築に関する基本合意契約に続く重要な節目であり、これにより、兵庫県・淡路島への移築に向けた取り組みは新たな段階へと進み、再建築に向けた検討がさらに具体的に進められます。



左から 株式会社浅沼組 代表取締役社長 浅沼誠、DGMR Senior Advisor Paul van Bergen 氏、株式会社パソナグループ 代表取締役会長 CEO 若本博隆氏

建築を資源として循環させる移築プロジェクトへの建設会社としての挑戦

オランダパビリオンは計画段階から解体・再利用を前提とした循環型建築の実践であり、大阪・関西万博の海外パビリオンの中で、外観や構成を大きく変更することなく移築される事例は極めて稀です。

そのような中、当社は、AND B.V.の一員として、パビリオンの設計段階から参画し、施工、解体に至るまで一貫して携わってまいりました。施工時には各部材にナンバリングを行い部材の所在地を管理する等、部材の再利用を見据えた施工・管理を行いました。解体においては、通常の解体とは異なり、移築を見据えて部材のひとつひとつを丁寧に、品質を考慮しながら分解し、管理を行いました。

そして、現在、当社は解体した部材の保管・維持管理を担っております。再利用に向け、当社立案の保管要領に基づき部材を点検しながら保管し、品質維持のための環境管理や状態確認も行っております。今後の移築先である兵庫県・淡路島における再建築についても当社が担うべく、移築に向けた取り組みを積極的に行なっております。

移築に向けたシンボリックな式典「譲渡契約締結式」の開催

こうした中、移築に向けた重要な節目として、AND B.V.よりパソナグループへ所有権が引き渡された譲渡契約締結式が執り行われました。式典では、オランダ総領事 Sandra Pellegrom 氏をはじめ、株式会社パソナグループ 代表取締役会長 CEO 若本 博隆氏、また、AND B.V.の参加会社である DGMR Senior Advisor Paul van Bergen 氏、RAU 建築事務所 Architect, Director, Founder Thomas Rau 氏、そして株式会社浅沼組 代表取締役社長 浅沼 誠らが参加し、大阪・関西万博のレガシー継承の意義や、この度の移築の実現に貢献した方々への謝意などが述べられました。

当社社長の浅沼からも、「建設の段階から一つひとつの部材の『声』を聴くように丁寧に向き合い、その価値を損なうことなく次へと引き継ぐことに努めてまいりました。こうした積み重ねが、循環型社会の実現に向けた具体的な実践であると確信しております」「部材の一つひとつに宿る志を、この淡路の地に再び呼び覚まし、新たな価値と物語へと結実させていくこと。それが私ども浅沼組に託された役割です」と、本移築プロジェクトに建設会社として携わっていることの意義と誇り、そして移築への挑戦に向けた意欲が述べられました。

オランダパビリオンの移築は、大阪・関西万博のレガシーを未来へつなぐ取り組みであるとともに、限りある資源を活かしながら建築の価値を次世代へ継承する点においても意義の高いプロジェクトです。今後、淡路島への移築に向けた準備が本格化します。前例が多くない中、当社にとっては大いなる挑戦となりますが、引き続き関係各所と連携しながら、オランダパビリオンの価値を次の場所へとつないでまいります。



【参考:2025 年 5 月 20 日付 移築に関する基本合意書締結に係るプレスリリース】

- 当社 HP:https://www.asanuma.co.jp/news/index_news_pdf/20250520n.pdf
- PR Times:[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000077355.html](https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000009.000077355.html)

【参考:オランダパビリオン新築時の建設ストーリーを記した特設サイト】

大阪・関西万博オランダパビリオン建設 挑戦の数が未来を創る「チーム浅沼組」の軌跡
<https://www.asanuma.co.jp/expo2025/>

*1 AND (A New Dawn) B.V.:オランダパビリオン設計・建設を担当した日蘭企業によるコンソーシアム。オランダの建築事務所『RAU』、体験型デザインスタジオ『Tellart』、エンジニアリング・コンサルタント会社『DGMR』、日本の総合建設会社『株式会社浅沼組』で構成されています。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社浅沼組

戦略企画本部 コーポレート・コミュニケーション部

TEL:06-6585-5508

Eメール:asanuma_ir@asanuma.co.jp